

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～

第12回（ポスター・セッション）

1. 実施日

令和3年11月6日（土）1、2限

2. 場所

講堂（A-1～A-5, B-1～B-5, C-1～C-3 13グループ計52名）
1棟多目的教室（C-4～C-5, D-1～D-5 7グループ計27名）

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

大阪大学 全学教育推進機構 准教授 堀一成 先生、坂尻彰宏 先生、柿澤寿信 先生
京都橘大学 経済学部経済学科 准教授 乾明紀 先生
TA 大阪大学 7名

5. 内容

- (1) 諸注意・発表準備（8:40～8:45）
- (2) ポスターセッション（各回発表6分・質疑応答6分）各チーム2回発表
 - 8:45～8:57 1回目①
講堂：A-1～A-5, B-1～B-2 多目的：C-4～C-5, D-1～D-2
 - 9:00～9:12 1回目②
講堂：B-3～B-5, C-1～C-3 多目的：D-3～D-5
 - 9:15～9:27 2回目①
講堂：A-1, 3, 5, B-1, 3, 5 多目的：C-5, D-1, 3, 5
 - 9:30～9:42 2回目②
講堂：A-2, 4, B-2, 4, C-1, 2, 3 多目的：C-4, D-2, 4
- (3) 休憩（9:45～9:55）
- (4) 講師・TAからの講評・助言、及び課題を踏まえ研究報告書を改善（9:55～10:25）

6. 学び

論文を作成する際に必要な技能であるアカデミック・ライティングについて学習し、根拠情報の見つけ方や情報の整理方法、レポートの組み立て方などに関する手法を身につける。

7. 次回への課題

「研究報告書」Ver.2を作成する。

8. 本時の振り返り

本日は、4月から各大学関係者、企業関係者の皆様などたくさんの方々から助言や御協力をいただきながら取り組んだ研究内容の中間発表を、ポスターセッションという形で実施した。また、他のチームの発表を聞き質問をすることを通して、お互いに刺激を与え合うこともできた。発表後、ループリック評価に基づいたフィードバックを受け、チーム内で協議をし、研究内容のブラッシュアップをした。